



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月8日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第二部
 コード番号 4923 URL <http://www.cota.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,357	5.6	182	△15.6	183	△14.9	114	△14.7
25年3月期第2四半期	2,232	3.5	215	△30.6	215	△28.4	133	△25.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10 80	—
25年3月期第2四半期	12 66	—

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,871	5,765	83.9
25年3月期	7,277	5,824	80.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,765百万円 25年3月期 5,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	18 00	18 00
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18 00	18 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,140	10.7	1,006	15.7	1,002	13.7	616	△2.1	58 27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	10,581,450株	25年3月期	10,581,450株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,770株	25年3月期	4,009株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	10,576,887株	25年3月期2Q	10,577,759株

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2	サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
	(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3	四半期財務諸表	6
	(1) 四半期貸借対照表	6
	(2) 四半期損益計算書	8
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
	(継続企業の前提に関する注記)	10
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
	(セグメント情報等)	10

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、現政権下における金融緩和をはじめとした各種政策への期待感により、回復傾向が見られたものの、米国の財政不安による影響等への懸念もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の下落等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界（美容室経営）の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、主力となるトイレタリーの販売が好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

売上原価につきましては、増収に伴い、前年同四半期を上回りました。また、販売費及び一般管理費につきましても、先行投資として営業職を中心に積極的な人材採用を行ったことによる人件費の増加等により、前年同四半期を上回っております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,357百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益は182百万円（前年同四半期比15.6%減）、経常利益は183百万円（前年同四半期比14.9%減）、四半期純利益は114百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、以下のとおりであります。

① トイレタリー

トイレタリー（シャンプー、トリートメント）は当社の主軸となる製品群であります。毛髪のダメージケアに対する消費者の関心の高まりから、一般市場品におきましても高付加価値なトイレタリー製品へのニーズが増加しております。

当社では、美容室の来店客に対する毛髪及びヘアケアのカウンセリング提案をベースに、主力製品である「コタ アイ ケア」を中心とした店販を継続して推進いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,502百万円（前年同四半期比11.4%増）、セグメント利益（売上総利益）は1,092百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。

② 整髪料

ヘアスタイルの多様化に伴い、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっております。

当社では、従来の主力製品である洗い流さないタイプのトリートメントを中心に、美容室の来店客に対する毛髪及びヘアスタイルのカウンセリング提案を通じて、店販の推進に注力いたしました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の売上高は366百万円（前年同四半期比8.3%減）、セグメント利益（売上総利益）は275百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

③ カラー剤

白髪を染めるグレイカラーと若年層中心のファッションカラーを含め、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっております。

当社では、主力の「グラフィカ」におきまして専用の販促ツールを活用し、拡販に注力してまいりました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の売上高は231百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益（売上総利益）は146百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。

④ 育毛剤

一般市場品との競合が激しいセグメントとなっておりますが、美容室におきましては、頭皮ケアへの関心の高まりからヘッドスパメニューが推進されております。

当社では、主力の「コタセラ」シリーズを中心に、頭皮の洗浄や育毛効果のあるヘッドスパメニュー等の導入提案に注力いたしました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の売上高は95百万円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント利益（売上総利益）は75百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

⑤ パーマ剤

ヘアスタイルのトレンドがパーマに回帰する傾向は見受けられず、パーマ市場は引き続き減少傾向にあると推測されます。

当社では、主力の「コタウェーブ リジカル」を中心に、美容室に対してパーマメニューの提案を積極的に行ってまいりました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の売上高は75百万円（前年同四半期比16.4%減）、セグメント利益（売上総利益）は49百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

⑥ その他

美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を計上しております。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は86百万円（前年同四半期比43.0%増）、セグメント利益（売上総利益）は43百万円（前年同四半期比72.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度末から406百万円減少し、6,871百万円となりました。

主な要因としては、現金及び預金が299百万円、商品及び製品が195百万円増加し、売掛金が458百万円、有価証券が454百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度末から346百万円減少し、1,105百万円となりました。主な要因としては、販売奨励引当金が100百万円増加し、未払金が326百万円、未払法人税等が159百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度末から59百万円減少し、5,765百万円となりました。主な要因としては、利益剰余金が58百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、83.9%（前事業年度末80.0%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末より454百万円減少し、1,437百万円（前年同四半期比227百万円増）となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、132百万円（前年同四半期比85百万円減）となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益183百万円及び売上債権の減少440百万円であり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加200百万円、法人税等の支払いによる支出266百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、413百万円（前年同四半期比106百万円減）となりました。

収入の主な要因としては、投資有価証券の売却による収入13百万円であり、支出の主な要因としては、定期預金の預入による支出300百万円、有形固定資産の取得による支出118百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、173百万円（前年同四半期比16百万円増）となりました。

支出の主な要因としては、配当金の支払いによる支出172百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は営業戦略上、利益の構成比率は下半期のウェイトが大きく、上半期における利益の構成比率は小さくなっております。当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては減益となりましたが、減少額は小さいものと判断しております。

第3四半期以降につきましては、美容業界の繁忙期と重なることに加え、11月から12月にかけて当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」の開催も予定しており、「コタ アイケア」を中心とした利益率の高いトイレタリーの需要増加が見込まれることから、平成25年5月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2 サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,861	331,768
受取手形及び売掛金	1,076,227	638,627
有価証券	1,860,620	1,405,885
商品及び製品	468,639	663,889
仕掛品	9,278	11,843
原材料及び貯蔵品	157,673	160,809
その他	127,108	189,434
流動資産合計	3,731,408	3,402,257
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,457,413	1,443,057
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	546,768	488,219
有形固定資産合計	3,163,087	3,090,183
無形固定資産	83,621	72,160
投資その他の資産	299,170	306,656
固定資産合計	3,545,879	3,469,001
資産合計	7,277,288	6,871,259
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,006	76,549
未払金	388,125	61,638
未払法人税等	273,200	113,700
未払消費税等	27,140	13,815
賞与引当金	164,216	154,827
役員賞与引当金	—	11,297
販売奨励引当金	26,752	126,809
その他	82,686	58,885
流動負債合計	1,000,126	617,523
固定負債		
退職給付引当金	12,365	19,670
役員退職慰労引当金	335,480	357,694
長期預り保証金	104,518	110,923
固定負債合計	452,363	488,287
負債合計	1,452,490	1,105,810

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,800	330,800
利益剰余金	5,107,758	5,048,881
自己株式	△1,895	△2,570
株主資本合計	5,824,462	5,764,911
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	335	537
評価・換算差額等合計	335	537
純資産合計	5,824,797	5,765,448
負債純資産合計	7,277,288	6,871,259

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,232,676	2,357,606
売上原価	640,693	675,224
売上総利益	1,591,982	1,682,381
販売費及び一般管理費	1,376,243	1,500,278
営業利益	215,739	182,103
営業外収益		
受取利息	712	733
受取配当金	2,420	1,691
投資有価証券売却益	2,981	1,285
受取賃貸料	2,650	3,031
その他	6,255	2,817
営業外収益合計	15,020	9,559
営業外費用		
投資有価証券売却損	3,819	—
たな卸資産廃棄損	8,808	4,662
賃貸費用	1,066	1,319
その他	1,175	1,897
営業外費用合計	14,869	7,878
経常利益	215,890	183,784
税引前四半期純利益	215,890	183,784
法人税、住民税及び事業税	97,761	107,169
法人税等調整額	△15,758	△37,593
法人税等合計	82,002	69,575
四半期純利益	133,887	114,208

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	215,890	183,784
減価償却費	200,601	160,725
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,049	△9,389
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,050	11,297
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,994	7,304
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	21,022	22,214
その他の引当金の増減額(△は減少)	94,317	100,057
受取利息及び受取配当金	△3,132	△2,425
投資有価証券売却損益(△は益)	838	△1,285
売上債権の増減額(△は増加)	540,716	440,768
たな卸資産の増減額(△は増加)	△349,034	△200,951
仕入債務の増減額(△は減少)	23,112	38,542
その他	△237,022	△353,837
小計	494,315	396,804
利息及び配当金の受取額	2,974	2,169
法人税等の支払額	△279,661	△266,669
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,627	132,304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300,000
投資有価証券の売却による収入	27,609	13,342
有形固定資産の取得による支出	△547,863	△118,778
その他	72	△8,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△520,181	△413,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△129	△674
配当金の支払額	△157,020	△172,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△157,149	△173,201
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△459,703	△454,827
現金及び現金同等物の期首残高	1,670,050	1,892,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,210,347	1,437,654

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレットリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,348,816	399,590	235,566	98,396	89,984	2,172,353	60,322	2,232,676
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,348,816	399,590	235,566	98,396	89,984	2,172,353	60,322	2,232,676
セグメント利益	958,604	304,546	165,915	79,413	58,317	1,566,798	25,184	1,591,982

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,566,798
「その他」の区分の利益	25,184
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,376,243
四半期損益計算書の営業利益	215,739

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレタリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,502,312	366,522	231,403	95,838	75,264	2,271,342	86,263	2,357,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,502,312	366,522	231,403	95,838	75,264	2,271,342	86,263	2,357,606
セグメント利益	1,092,865	275,601	146,038	75,278	49,230	1,639,013	43,367	1,682,381

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,639,013
「その他」の区分の利益	43,367
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,500,278
四半期損益計算書の営業利益	182,103

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。